



2018年12月期 第1四半期
決算説明資料

2018年5月11日

資料取扱い上のご注意

このプレゼンテーションで述べられているAppBank株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。

I. 2018年12月期第1四半期業績実績

II. 2018年12月期通期業績予想

appendix

I. 2018年12月期第1四半期業績実績

II. 2018年12月期通期業績予想

appendix

業績トピックス

メディア事業

【既存事業】

広告受注、ABNWともに対前期比で売上減少傾向。

主力メディアのトラフィックが回復傾向であり、関連する収益も回復傾向に。

『HIROBA』は採算性を鑑みて4月末にてサービス終了。

【新規事業】

『ringolf』は引き続き堅調。

『麻雀ツモツモ』は、ダウンロード数は増加しているものの、ユーザー課金につながらず損益的に苦戦中。

ポーカーアプリ『POKER×POKER』を6月にリリース予定。



業績トピックス

ストア事業

【Eコマース】

メディアのトラフィックから流入の減少が続き販売実績が前年を下回った。

【店舗】

前年6店舗（うち直営店3店舗）閉鎖により売上は前年比減少したものの、固定費削減効果により採算性は改善。

【修理事業】

修理事業の拡大を推進。
他FC候補との協業を検討中。



2018年12月期第1四半期 損益状態

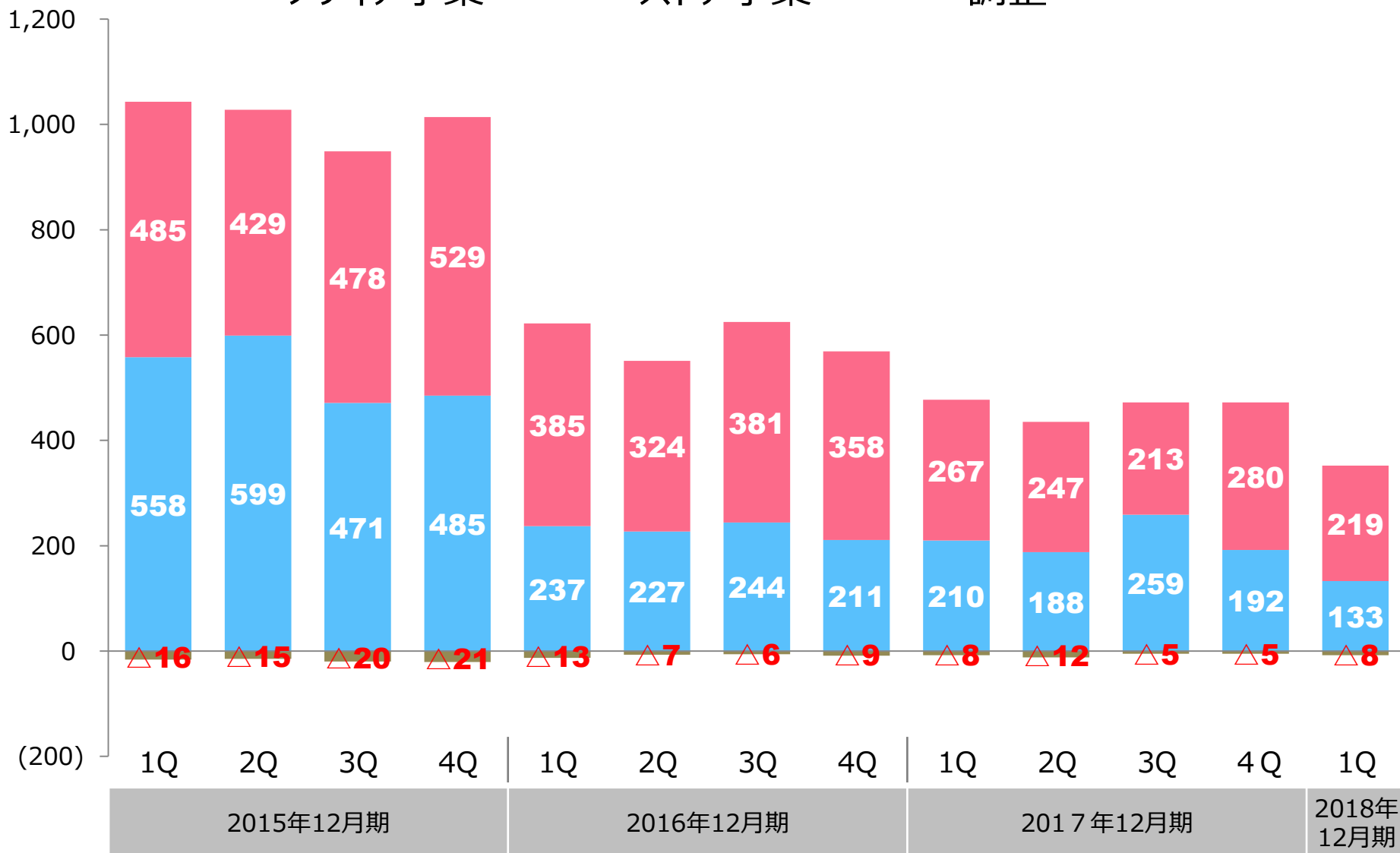
単位：百万円 下段：構成比	2017年12月期 第1四半期	2018年12月期第1四半期		
			前年同期比	増減額
売上高	469 (100%)	344 (100%)	△ 26.6%	△ 125
メディア事業	210 (44.9%)	133 (38.8%)	△ 36.6%	△ 77
ストア事業	267 (56.9%)	219 (63.7%)	△ 17.8%	△ 47
売上総利益	151 (32.3%)	129 (37.6%)	△ 14.4%	△ 21
販管費	252 (53.7%)	220 (64.1%)	△ 12.5%	△ 31
営業利益	△ 100 (-%)	△ 91 (-%)	-%	+9
経常利益	△ 101 (-%)	△ 91 (-%)	-%	+9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 102 (-%)	△ 75 (-%)	-%	+26

- ・売上高：メディア事業、ストア事業とも前年同期を下回る
- ・売上総利益：メディア事業の外注費の減少、ストア事業の原価率の改善により売上総利益率は向上
- ・販管費：メディア事業、ストア事業とも減少、販管費には研究開発費35を含む

事業別状況：売上高 四半期推移

単位：百万円

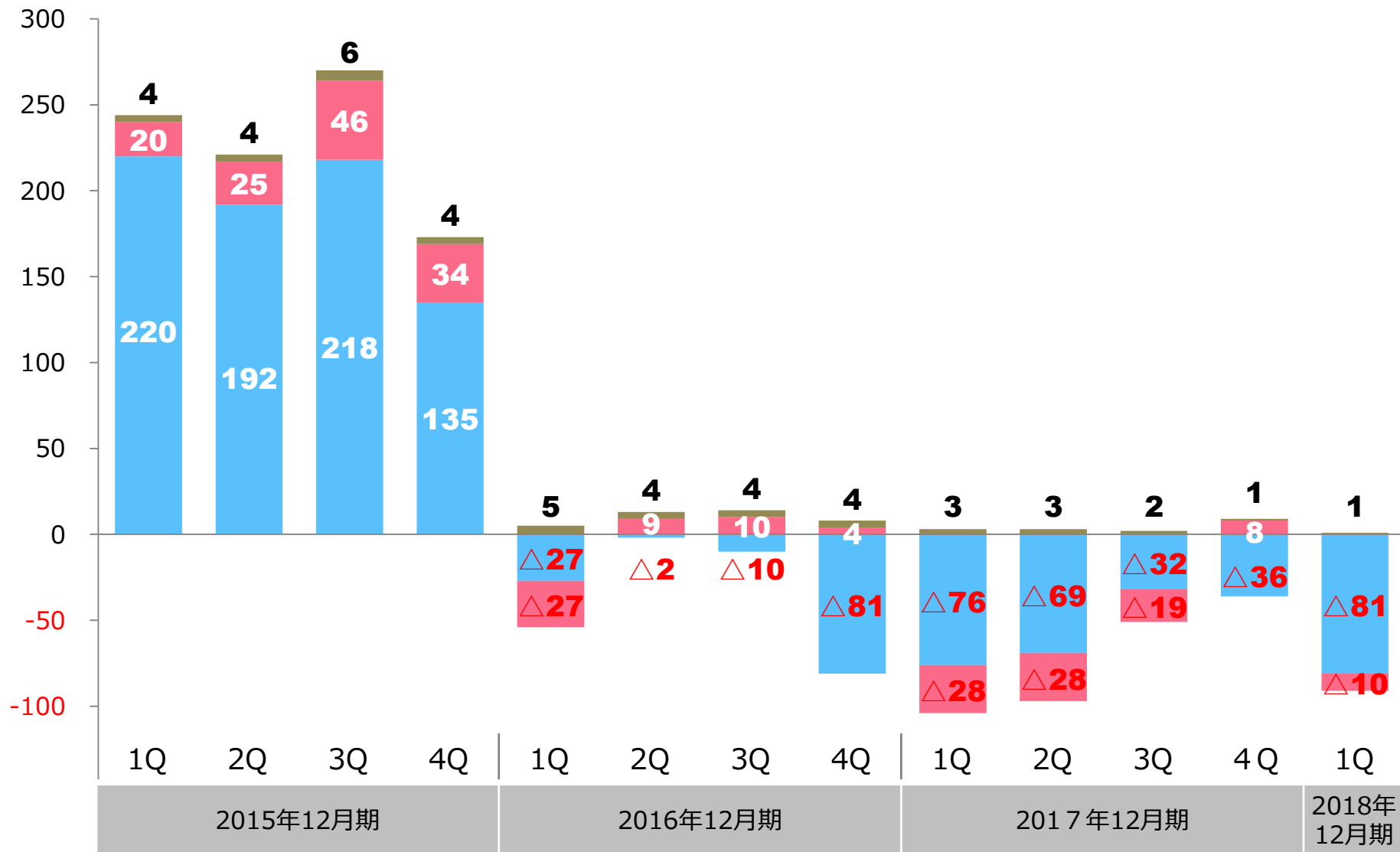
■ メディア事業 ■ ストア事業 ■ 調整



事業別状況：営業利益 四半期推移

単位：百万円

■ メディア事業 ■ ストア事業 ■ 調整



単位：百万円 下段：構成比	2017年12月期 第1四半期	2018年12月期第1四半期		
		業績予想	前年同期比	増減額
売上高	210 (100%)	133 (100%)	△ 36.6%	△ 77
売上総利益	43 (20.7%)	37 (28.1%)	△ 14.0%	△ 6
販管費	120 (56.9%)	119 (89.1%)	△ 0.7%	△ 0
営業利益	△ 76 (-%)	△ 81 (-%)	-%	△ 5

- ・売上高：広告案件の減少及び広告PF事業の売上の減少
- ・売上総利益：主に開発案件に係る外注費コントロールによる減少
- ・販管費：コンプライアンス関連費用及び上場関連費用の減少も、研究開発費の計上により前年並みに
- ・営業利益：売上減少と固定費の増加により、営業利益の減収幅が拡大

単位：百万円 下段：構成比	2017年12月期 第1四半期	2018年12月期第1四半期		
		業績予想	前年同期比	増減額
売上高	267 (100%)	219 (100%)	△ 17.8%	△ 47
売上総利益	114 (42.7%)	98 (44.7%)	△ 13.9%	△ 15
販管費	142 (53.2%)	108 (49.5%)	△ 23.6%	△ 33
営業利益	△ 28 (-%)	△ 10 (-%)	-%	+17

- ・売上高：(EC) サイトへの流入減の影響／(店舗) 店舗数減少の影響、既存店は前年を上回る成績
- ・売上総利益：在庫管理の厳格化に伴う原価率の低減
- ・販管費：不採算店舗の閉鎖による固定費の削減により、売上高販管費比率は改善
- ・営業利益：販管費削減も、売上減による売上総利益の減少を補えず

2018年12月期第1四半期 財務状況

単位：百万円	2017年12月期末	2018年12月期第1四半期末	
		業績予想	前期末増減額
流動資産	1,226 (89.4%)	1,083 (89.3%)	△143
固定資産	145 (10.6%)	129 (10.7%)	△16
資産合計	1,372 (100%)	1,212 (100%)	△159
流動負債	397 (29.0%)	338 (27.9%)	△58
固定負債	357 (26.1%)	317 (26.2%)	△39
負債合計	755 (55.0%)	656 (54.1%)	△98
純資産合計 (自己資本比率)	616 (45.0%)	556 (45.9%)	△60
負債純資産合計	1,372 (100%)	1,212 (100%)	△159

- ・流動資産：現金及び預金の減少△63／売掛金減少△55
- ・負債：（流動負債）買掛金の減少△25／（固定負債）長期借入金の減少△39
- ・純資産合計：親会社株主に帰属する当期純損失△75計上／非支配株主持分14を含む

I. 2018年12月期第1四半期業績実績

II. 2018年12月期通期業績予想

appendix

2018年12月期通期 業績予想



単位：百万円 下段：構成比	2017年12月期 実績	2018年12月期		
		業績予想	前期比	増減額
売上高	1,829 (100%)	1,800 (100%)	△1.6%	△29
メディア事業	851 (46.6%)	800 (44.4%)	△6.0%	△51
ストア事業	1,008 (55.1%)	1,000 (55.6%)	△0.8%	△8
売上総利益	625 (34.2%)	575 (31.9%)	△8.0%	△50
販管費	894 (48.9%)	712 (39.6%)	△20.4%	△182
営業利益	△269 (-%)	△137 (-%)	-%	+132
経常利益	△275 (-%)	△142 (-%)	-%	+133
親会社株主に帰属する 当期純利益	△459 (-%)	△140 (-%)	-%	+319

I. 2018年12月期第1四半期業績実績

II. 2018年12月期通期業績予想

appendix



6月上旬リリース予定
ゲームアプリ『POKER×POKER』

POKER×POKERとは

世界中でプレイされているゲーム「テキサスホールデムポーカー」がいつでも簡単に遊べるスマホゲームアプリです。1vs1専用のため、1試合の時間も短く気軽にお楽しみいただけます。



メディア展開例

『AbemaTV』で毎週金曜日の深夜12時～深夜1時に放送されている『GACKTプロデュース！POKER×POKER～業界タイマントーナメント』、番組さながらの世界観とプレイスタイルをスマートフォンでいつでも気軽に体験できます。

※マックスむらいは、2018年5月11日（金）に出演。



GACKTやプロポーカープレイヤーも参加

ユーザーはアプリ内で実際にGACKT氏やプロポーカープレイヤーと1vs1で戦え、大会を競い合うことも可能です。



毎日大会開催

通常の実戦だけでなく、アプリ内で使えるチップを賭けた大会を毎日開催します。実際のカジノで開催されているような高額な優勝チップを賭けて1位を目指せ！

アプリ情報

- ・ アプリ名 : POKER×POKER
- ・ リリース日 : 2018年6月上旬
- ・ 対応 OS : Android/iOS
- ・ 料 金 : 無料 (アプリ内課金)

※Android 5.0以降/iOS 8.0以降





